



特集 **1**

SPECIAL FEATURE

## はじめての データベース アプリケーション

1

### データベースアプリケーションの初歩の初歩

# ウィザードを使って アプリケーションを作ってみる

大澤 文孝 OSAWA, Fumitaka

## はじめに

Visual Studio 2005では、ウィザードやフォームデザイナーが強化され、以前に増して、ユーザーインターフェイスの設計が簡単になりました。

実際、データベースのテーブル定義をフォームにドラッグ&ドロップするだけで、ユーザーインターフェイスの雛形ができあがります。

このようなVisual Studio 2005の支援機能は、慣れてしまえば開発効率上がるものの、はじめてVisual Studio 2005に触れる開発者にとっては、どこ

から手を付けてよいのかがわかりにくく、また、自動生成された雛形をどのように拡張していけばよいのかが理解しにくい面も持ち合わせています。

そこで本稿では、ごく簡単な住所録アプリケーションの雛形作成を見ながら、Visual Studio 2005ではじめてデータベースアプリケーションを構築する開発者向けに、「何からはじめればよいのか」を説明していきます。

## SQL Server 2005 Expressを操作する

Visual Studio 2005では（というよりも、.NET Framework 2.0では）、AccessやOracle、SQL Serverなど、さまざまなデータベースを扱うことができます。

どのデータベースを使ってもかまいませんが、Visual Studio 2005では、再配布もできるSQL Server 2005 Express Editionを使うことが多いと思われます。

そこでまずは、Visual Studio 2005から、SQL Server 2005 Express Edition上のデータベースやテーブルを操作する方法から説明します。

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

・ Visual Basic

ツール >>> Tool

・ Visual Studio 2005 Professional  
・ SQL Server 2005 Express

## データベースの作成

Visual Studio 2005では、「サーバーエクスプローラ」から「データ接続」を右クリックして、「新しいSQL Serverデータベースの作成」を選ぶと、SQL Server (Express Editionも含む) 上に、データベースを作成できます<sup>[注1]</sup>。

本稿では、これから作成していくサンプルアプリケーションで使う、「exampleldb」という名前のデータベースを作成することにします (図1)。

## テーブルの作成

データベースを作成したならば、次にテーブルを作成します。

テーブルを作成するには、図1で作ったデータベースのツリーを展開して、「テーブル」の部分をクリックして「新しいテーブルの追加」を選びます (図2)。

ここでは、表1に示す、住所データを格納できるaddressテーブルを作成することにします。

## ウィザードでデータソースを作る

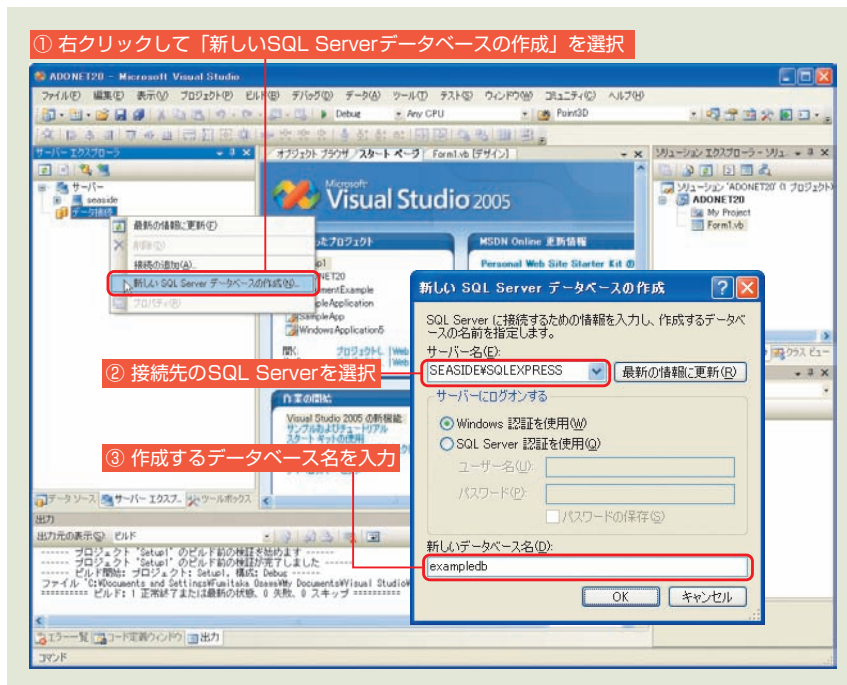
データベースの準備ができたならば、「データソース構成ウィザード」を使って、「データソース」を作成します。

データソースとは、「データを供給するクラス」のことです。

データソース構成ウィザードは、「データ」メニューの「新しいデータソースの追加」から起動できます。

注1) 新しくデータベースを作成するのではなく、既存のデータベースを選択するには、「データ接続」を右クリックして、「接続の追加」を選びます。

図1：データベースの作成



## Microsoft SQL Server Management Studio Express

SQL Server 2005 Express Editionには、GUIの操作ツールは付いていません。そのため、多くの場合、Visual Studio 2005の統合環境から、データベースやテーブルを作成していくことになります。しかしSQL Server 2005 Express Edition向けのGUIツールとして、別途、「Microsoft SQL Server Management Studio Express (SSMSE)」が提供されています。

SSMSEを使うと、図Aのように、GUIでデータベースやテーブルの操作ができます。このツールはマイクロソフト社のダウンロードセンターから入手できます。原稿執筆時点では、まだCTP (Community Technology Preview) 版ですが、便利なツールなので、SQL Server 2005 Express Editionを使う際には、用意しておくことをお勧めします。

図A：Microsoft SQL Server Management Studio Express

